

決算補足資料
平成27年12月期 第3四半期

株式会社カイオム・バイオサイエンス

2015年11月12日



Copyright © 2015 Chiome Bioscience Inc. All Rights Reserved.

MOthers

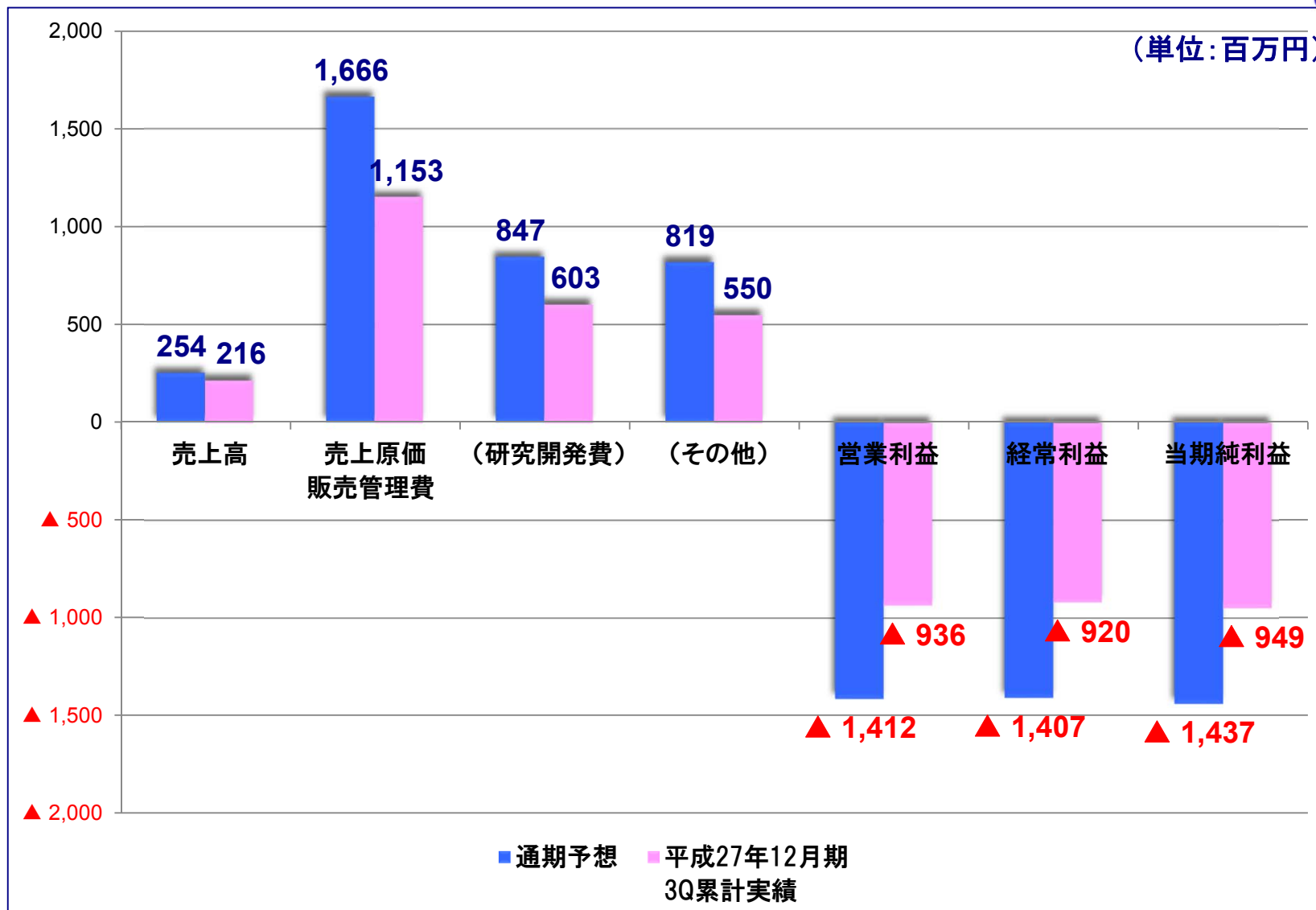
証券コード: 4583

◆平成27年12月期業績

◆経営概況



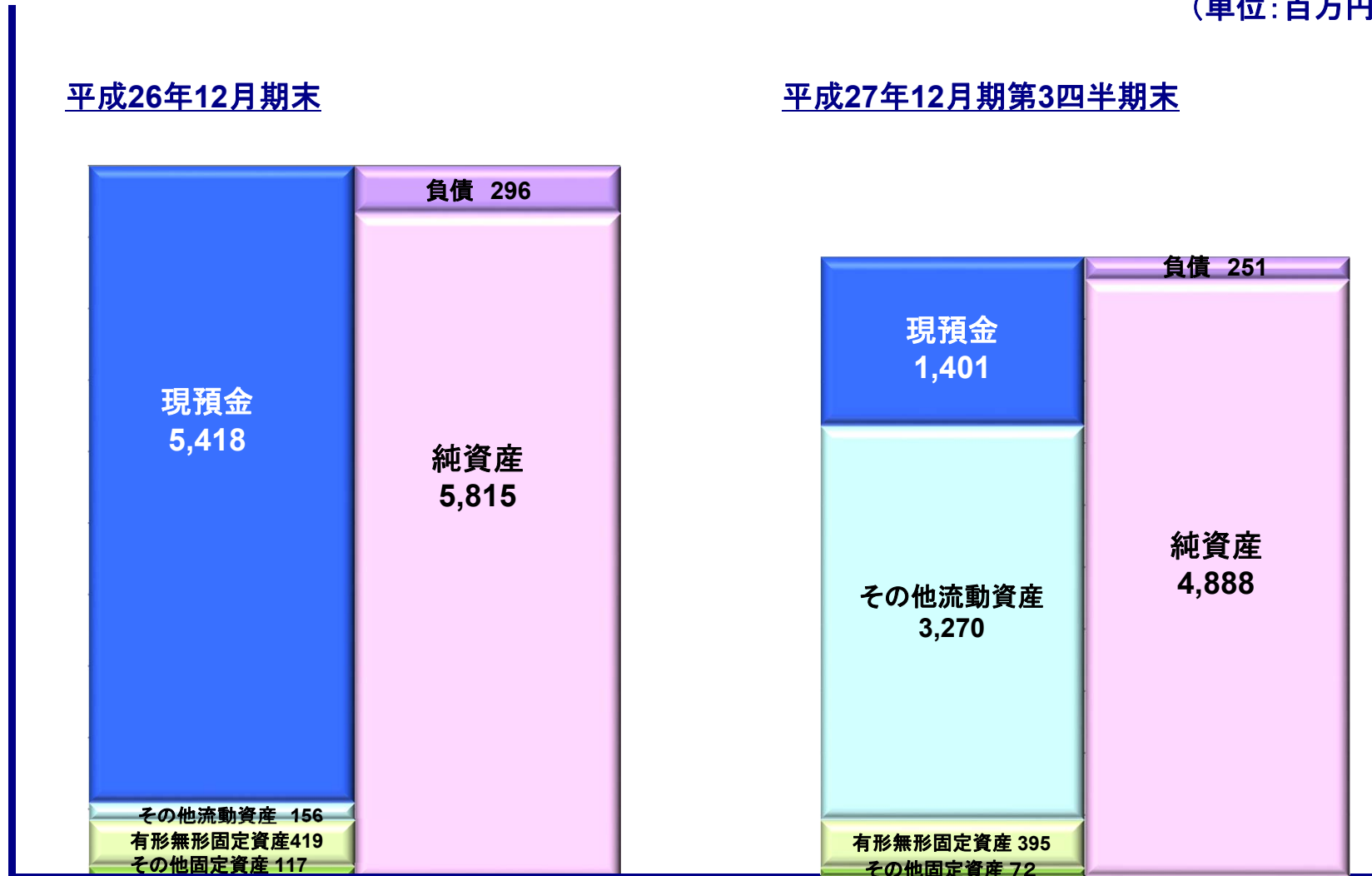
業績: 損益の状況



業績: 貸借対照表の状況



(単位:百万円)



平成27年7月1日付で、唯一の連結子会社の株式会社リブテックを吸収合併し、連結子会社が存在しなくなったため、カイオム単体の状況を示しております

◆平成27年12月期業績

◆経営概況



➤ 【事業開発の状況】

- ✓ 検証契約締結に向けて営業活動を実施している完全ヒトADLib[®]システムは既存の抗体作製技術にはないユニークさを国内外の製薬企業等から評価を頂いている一方、当社が望む経済条件での導出に向けては、さらなる抗体作製実績の獲得や条件交渉に時間が必要な状況。開発効率の高いPOCが確立しているターゲットへの抗体作製プロジェクトを進め、基盤技術導出活動を進める。また、中期経営計画の修正に伴い、経営責任を明確にするため役員報酬の一部減額を実施。
- ✓ 平成27年7月1日付でリブテックを吸収合併。同社の癌治療用抗体を目指すLIV-1205はスイスのADC Therapeutics社とAntibody Drug Conjugate (ADC: 抗体薬物複合体※)での全世界における独占的な開発・販売権に関するオプションライセンス契約を締結。

(ADCT社がオプション権を行使した場合にはオプション行使一時金を受け取り、また、開発の進捗に応じたマイルストーンペイメントを含めて総額で最大約90億円を受領する。さらに、製品上市後には、売り上げに応じたロイヤルティも受領することとなる。)

※ADC(抗体薬物複合体)は抗体と薬物を結合させ、抗体の抗原特異性を利用して薬物を疾患部位に効率的に行き届かせることを目指した医薬

➤ 【研究開発の状況】

- ✓ 研究領域の集中と選択を行い、完全ヒトADLib®システムを含む医療用抗体の作製・ステージアップ・導出に向けた研究開発活動を継続。
- ✓ 移転中止を決定したナノ医療イノベーションセンター(iCONM)にかわり、人員・研究設備を拡充した旧リブテック研究所を抗体創薬研究所としてリニューアルし、本格稼働を開始。

➤ 【創薬アライアンス事業】

- ✓ 中外製薬グループとは、オリジナルADLib®システムを用いた共同研究および委託研究を継続中。
- ✓ LIV-1205のADC開発用途以外は、他の製薬会社への導出活動を継続。LIV-2008のヤクルト本社との契約終了に伴う精算手続きが完了。24,927千円の売上高を計上。

➤ 【リード抗体ライセンスアウト事業】

✓抗セマフォリン3A抗体については、当期中の導出は困難と判断。

➤ 【基盤技術ライセンス事業】

✓オリジナルADLib®システムの技術導出先である富士レビオから、技術導出に伴うライセンス料および診断キットの販売に伴うロイヤルティの受領。ADLib®システムを用いた新たな診断キット創出に向けた研究開発活動を継続。



株式会社イーベックへの出資



イーベックとのシナジーにより、感染症領域での研究開発力の強化

イーベック社へ出資を決定、同社と協業体制を構築へ



株式会社イーベック

ヒト体内での抗体産生を担う血液Bリンパ球から完全ヒト抗体を作製する独自プラットフォームを有するバイオベンチャー。感染症領域でのリード抗体の開発実績、ベーリンガーインゲルハイムやアステラス製薬への抗体導出実績を有する。

設立	平成15年1月10日
代表取締役	高田賢藏(会長)、土井尚人(社長)
所在地	札幌市中央区大通西6丁目 三井生命札幌大通ビル8階
役職員	19名(役員6名、社員13名)
資本金	419百万円

本契約により当社が受領する金額は最大で約90億円

ADCT社で現在評価中

ADCT社に対して、ADCでの全世界における独占的な
開発・販売権に関するオプションライセンス契約を締結



総額90億円 + ロイヤルティ

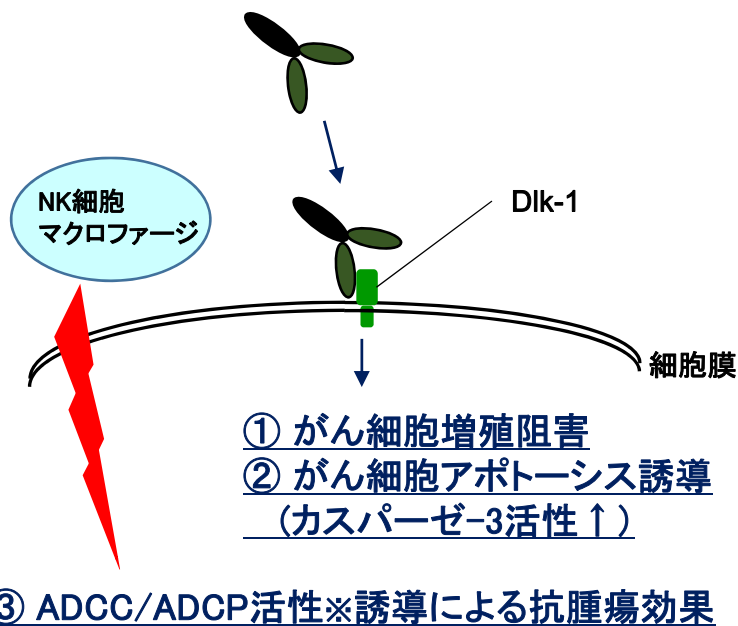
- ✓ 本オプションライセンス契約の締結時に契約一時金を受領
- ✓ ADCT社がオプション権を行使しライセンス契約を締結した場合には、
ライセンス契約一時金を受領
- ✓ 開発の進捗に応じたマイルストーンペイメントを受領
- ✓ 製品上市後には製品の売上高に応じたロイヤルティも別途受領

LIV-1205の作用機序と期待される効果



LIV-1205のADC開発用途のほか、Naked抗体でも抗腫瘍効果が期待される

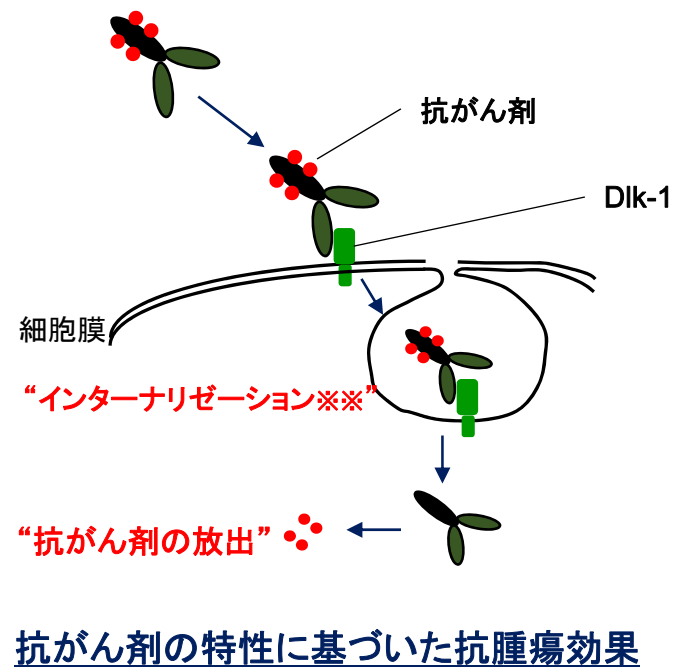
– Naked抗体– (製薬企業への導出を目指す)



Naked抗体自体が持つ抗腫瘍効果(①~③)を生かした治療用抗体の開発

※人間が元来持っている免疫機能、白血球が抗体を介してがん細胞などの標的細胞を殺傷する、細胞内に取り込んで分解する活性

– ADC抗体– (ADCT社とのOP契約締結済)



インターナリゼーション活性を生かしたADC抗体の開発

※※抗体が抗原結合後、細胞内に取り込まれる現象

100%の治療効果を追求するヘルスケア・イノベーター

完全ヒトADLib®システム創製
(2014年)

わずか数週間でヒトに投与可能な抗体を創出可能な技術を創製する

パンデミック感染症対応
(2018年)

完全ヒトADLib®システムにより、**ワクチンを代替**

究極のオーダーメイド医療
(2023年)

個々の患者さんに最適な抗体を迅速に提供し、**革新的治療を実現**



人類社会への貢献

倫理性と透明性

Ethics & Transparency

進化と創造

Evolution & Creation

交差と交流

Chiasma & Global Exchange

常に人命を最優先に考え、健全で誰からも愛される企業に！
個人と企業のたゆまぬ成長により、常に未来を創造する企業に！
地域と領域を超えた可能性を追求し続ける企業に！



- 本資料は、株式会社カイオム・バイオサイエンス(以下、当社という)を御理解頂くために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている将来の見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因の変化等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。
- 将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさを内在しております。
- 今後、新たな情報や将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。